

令和2年7月1日

名城大学剣道部関係者の皆様へ

名城大学剣道部後援会
会長 梅田 泰史

ご挨拶

拝啓 盛夏の候 コロナ禍、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は名城大学剣道部、並びに後援会の活動に一方ならぬ厚情とご理解、ご協力を賜り有難く厚く御礼申し上げます。この時期、恒例の『後援会報「尚武」夏季号』を発行し、後援会活動の状況、或いは各種情報の提供をするところではございますが、現下を鑑み皆様へのメッセージに代えさせて頂く次第でございます。

さて、皆様も既にご承知の通り、新型コロナウイルスの蔓延により、国内における主な活動が、自粛要請により停止、若しくは延期されました。これを受けて私達後援会も、九州や、中四国、関西の支部総会や、今年度の総会を、事態が収束するまで延期することと致しました。

現役学生諸君、特に今年度四年生幹部に於いては、幹部引継式以降、当剣道部の強化計画を作成し、後援会や大学へ支援を要請しておりましたが、現時点に於いては意気を削ぐ状態であり残念でなりません。私達後援会は、活動方針に謳っております通り、現役諸君への物心両面、特に資金援助を最大の支援手段と心得、何時活動が再開されても即刻の支援体制を布き、臨んでおりますことをご報告申し上げます。

当現役幹部に於いては、もう一つの試練が待ち受けております。新型コロナウイルス感染症は、日本経済に大きな試練を投げかけました。売り手市場であった就職戦線が完全に逆転し、またしても就職氷河期を再来させることが予測されます。こうした事態にも私達後援会は、今日まで築き上げてきた社会的ステイタスや人脈を駆使し、大学の学務センターと一体となり、活動の輪を拡大して参る所存です。又今年度入部してくれた新入生への支援も忘れてはなりません。保護者の皆様や母校の先生方へ、文武両道にて活躍している近況をお伝えし、安心を戴く事も務めとして活動して参ります。

その上で、今後の活動計画を報告申し上げます。

大学の課外活動としては許可が下り、様々な感染予防策を駆使しながら、漸く道場での練習が再開される見通しです。想定では、今秋には大会が開催されるものとし、合宿や遠征試合も計画される予定と聞いております。

後援会としても、世間情勢を鑑みながらではありますが、現時点では10月頃の然るべき良き日を選択し、延期してございました総会と後援会練成会、並びに懇親会を、大学の施設を借用し開催致したく思っております。皆様へは改めて通知致しますので、その節は、素晴らしく変貌致しました母校の姿を見学することも一興と、多くの皆様にご参集頂ければと希望する次第であります。

最後になりますが、酷暑の日々を控え、又感染症の終焉も期待できない今日この頃ではあります。感染対策を徹底され、お元気なお姿を、総会へお運び頂けることを祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

敬具